



《校訓》

克己・進取・礼節

澄みゆく心、かがやく志の育成

《教育目的》

未来を創造し、たくましく生き抜く力の育成

《めざす子ども像》

《めざす学校像》

《めざす教職員像》

- ◇挑戦的に学ぶ姿
- ◇卑怯を許さない姿
- ◇つながりを喜びとする姿

- 人権文化にあふれ、一人一人が大切にされ、安心して自分らしく過ごすことができる学校
- 「社会で許されないことは学校でも許されない」という、社会規範に照らした指導を実践する学校
- 義務教育学校のよさを最大限に活かし、豊かなつながりのあふれる学校
- 課題意識と探究心をもち、社会を生き抜く子どもを育てる学校
- 持続可能でウェルビーイングな社会を創造していくことのできる子どもを育てる学校

- 「めざす子ども像」の実現に向けて、自ら明確なビジョンを持ち、主体的、協働的に学校経営に参画する教職員
- 学ぶ意欲にあふれ、課題解決に向けて常に謙虚に自らのスキル向上を目指す教職員
- 教職という尊い仕事を自覚し、愛情と慈しみの心を持って子どもたちに接し、未来の人材を育成する使命を持つ教職員

《目標達成のために徹底する取組》

1. 子どもの学力向上めざす。そのために「主体的・対話的で深い学び」及び「個別最適な学びと協働的な学び」の実現に向けた授業改善を進める。また、児童生徒の状況に鑑み、適切に家庭学習が進められるよう手立てを施す。
2. 課題解決力を身に付けさせるために、総合的な学習の時間「東山探究」の充実を図る。
3. 非認知能力をはぐくむために、施設一体型義務教育学校の利点を生かした小中のつながりを重視した取組を一層充実させる。
4. デジタル学習基盤をよりよく活用できる力を養い、社会に参画しようとする態度を育てる。
5. 各種調査の結果や質問紙・アンケート・学校評価などの分析により児童生徒の変容を確認、共有し、本校が抱える教育課題を明確にした上で取組を進める。
6. 外部人材を積極的に活用するとともに、カリキュラム・マネジメントについての研究を積極的に進める。
7. より良い集団の形成を図る観点から、児童生徒会活動の活性化を進める。そこでは、児童生徒が自他を尊重し、協働的な自治集団づくりを行うとともに、自主的な活動や自己実現を保障する場とする。
8. 日々の観察や情報収集を通して、子どもたちの困りを的確に把握し、個に応じた支援を積極的に図っていく。また、学校に来にくい子どもの居場所づくりを組織的に行う。
9. 児童生徒の生活のあり様を把握し、健康増進や「生命」を大切にする教育を推進する。
10. 「めざす子ども像」「めざす学校像」「めざす教職員像」を達成するために、報告・連絡・相談を密にする中で教職員の意識改革を図るとともに、ミドルリーダーを中心とした創造的、組織的な学校運営を推進する。
11. 働き方改革の視点から、行事の精選をはじめとする教育活動の見直しを進めるとともに、義務教育学校ならではの強みを生かした教育を提供する。

これからの社会を生き抜く知識と博識を育む
～自ら探究する力を育成するための学びの場づくり～



【重点目標】
東山探究を主軸となす全ての教科領域で「発信力の向上」に焦点を当てた単元構想と授業づくりによる学力の向上

- 【重点化する取組】
- ① 「発信力の向上」を支える児童・生徒の思考力・表現力を育成するための共通した授業実践
 - ② 異学年・地域・社会とのつながりを生み出すために東山探究の単元を「発信提案型」に改編し検証(2年次)
 - ③ 発信方法を個別最適化するためのプログラミングを取り入れた9年間を系統化したプレゼンテーションスキルアッププログラムの作成
 - ④ 児童・生徒が自らの学びを授業・家庭学習と連動させることができるようなGIGA端末の活用
 - ⑤ 個の読書の楽しさを学内で共有できるような取組の実施

よりよい社会の実現に貢献できる高い志を育てる
～人権の大切さを理解し、より良い人間関係と将来展望を切り拓く学びの場作り～



【重点目標】
社会性と規範意識の育成

- 【重点化する取組】
- ① 多様性を理解する姿勢を大切にしたい心の居場所づくり
 - ② 自己肯定感、自己有用感などの自尊感情を高める学級経営と授業の実施
 - ③ 9年間を見通した人権教育のキュラムの構築と人権学活の充実
 - ④ 特別の教科道徳の指導の充実
 - ⑤ 生き方探究(キャリア)教育の視点から特別活動を要しつつ各教科や東山探究の時間の充実と9年間を見通した取組の系統性の確立
 - ⑥ 主体性と協働性に重きを置いた学級活動や行事の充実と主体的で目的が明確な体験活動の実施

心身の健康とたくましく生きるための体力の育成
～健やかでたくましい心や体を育む活動作り～



【重点目標】
基本的な生活習慣の確立と自己管理能力の育成 保健教育の充実

- 【重点化する取組】
- ① 歯・口の健康づくり推進事業推進校として児童・生徒の健康づくりのための取組
 - ② 毎日の健康観察で自己管理意識高める。
 - ③ 感染予防対策の継続
 - ④ 生活リズム点検
 - ⑤ 健康教室(個別の保健指導)
 - ⑥ 体力向上キャンペーン
 - ⑦ 警察署や消防署との連携
 - ⑧ HANAモデルの研修の充実
 - ⑨ 内安全の意識化点検の徹底 食教育の充実
 - ⑩ 各教科等における指導(関連する教科)
 - ⑪ 丁寧に継続した給食指導
 - ⑫ 給食週間の取組内容の充実
 - ⑬ ピア給食の実施・縦割り交流給食の実施

- 保幼小での連携・スタートアップカリキュラムの充実を図る。
- 「学びのプロセス」「スケジュール帳」等の取組を定着させる
- 公開授業研修会の実施、小中を越えた枠組みで授業改善に取り組む。

- 4年生以上で児童生徒会を運営し、早い段階から自治活動に参画させる。
- 道徳部会を中心として、教科書教材の指導について研修を深める。
- キャリア教育では、9年間を見通して系統的に進められるようにしていく。

- すこやか昼休みとジャンプアッププロジェクトにより体力向上とけが防止を目指す。
- 関連する教科で保健安全、食に関する指導への意識を高める。
- 各種アンケートで児童生徒の課題を経年で把握する。